

Weekly Report 2023-2024



創立 1969年4月14日
承認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発行 IT・広報委員会

世界に希望を生み出そう

会長：磯崎裕騎 / 幹事：吉岡哲哉 / 副会長：村上義憲 / 会長エレクト：江島繁夫 / 副幹事：岩本達也 / S.A.A: 堀井実

今週のプログラム		第2596回	4月26日
客話「香川県の「お口の健康」に香川大学医学部附属病院としての関わりについて」香川大学准教授 助川信太郎様			
担当者	プログラム委員会	例会場	JRホテルクレメント高松

先週のプログラム		第2595回	4月19日
卓話「これまでの周年記念式典・祝賀会を振り返って」石川洋介会員			
担当者	プログラム委員会	例会場	JRホテルクレメント高松



磯崎会長挨拶 4月13日分

・ 暖かな陽光が降り注ぐ清明の頃、本日ここに夏見ガバナーエレクトを始め多数のご臨席を賜り高松西ロータリークラブ創立55周年記念式典を開催できますことをまずもって会員一同心より感謝申し上げます。

池田県知事様並びに大西市長様におかれましては公務多忙のところご臨席を賜り厚く御礼を申し上げます。また友好縁組クラブである秋田県の矢島RC、韓国ドソルRC、茨城県水戸南RCの皆様には遠路はるばるおいで頂き感謝申し上げます。本当にありがとうございました。兄弟クラブの高松グリーンRC様には全員登録の榮譽を賜り大変ありがとうございました。

さて高松西ロータリークラブは1969年は昭和44年4月14日と4並びの大変おめでたい日に高松RCをスポンサークラブとし、当時は兵庫と四国が同じ地区であったため姫路RCの斉木亀治郎ガバナーの元、チャーターメンバー27名で発足しました。それから55年。長期に渡りロータリー活動を続け、こうして周年記念を迎えることができたのも、諸先輩方や多数の関係ロータリアンらのご指導ご鞭撻があったお陰と改めて感謝申し上げる次第です。

本年度はRI会長のゴードン マッキナリー氏の「世界に希望を生み出そう」のテーマの下、私は一期一会をテーマに会員やロータリアンのお互いの貴重な出会いを大切に、その出会いを通じてお互いにリスペクトの気持ちを持ち、互いに高め合うことを希望して参りました。その精神の下に今回会員一同の力を結集し周年記念式典並びに記念祝賀会を計画、そして記念事業を行って参りました。本日、ご参加の方々には会員が55周年を迎えることができたその喜びを共有して頂き、このご縁を大切に末長くお付き合いを続けさせて頂きたいと思っておりますのでどうぞ今後ともよろしく願います。

最後に本日ご臨席賜りました皆様のご後のご多幸とご健勝を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。本日は誠に有り難うございました。


吉岡幹事報告

- ・ 理事会、欠席者多数のため、次週に延期します。
- ・ ドソルロータリーから「韓国海苔」のお土産をいただいております。
- ・ 水戸南から「お芋」お土産をいただいております。お芋は温めてください、より美味しくなります。

4月26日 今日は何の日	今日生まれの有名人
孔子祭/ふろの日 1897年 国会図書館開館 1939年 関門海底トンネル開通	1993年 竹内涼真 1961年 栗山英樹 1952年 大橋純子
誕生花 木苺、花言葉は“愛情”	1949年 風間杜夫 1798年 ドラクロア 1564年 シェイクスピア
誕生石 ダイヤモンド(diamond)、宝石言葉は“清浄無垢”	

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我らの業
望は世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ 我等のロータリー




ニコニコBOX	
55周年お疲れ様でした。	吉岡
早退	1件
合計 2 件	
本日 の 合 計	5,500 円
2023-2024 年 度 累 計	698,000 円

出席報告		出席委員長：低田陽介	
会 員 数 /	41 名	出席規準数 /	38 名
出席者数 /	15 名	欠席者数 /	22 名
出席率 /	39.47%	ビ ジ タ ー /	0 名
最終出席率 /	4 月 5 日	69.23% →	79.49%

メイクアップ

4月18日 高松RC 泉谷 白川 堀井 低田

ポール・ハリスの言葉 ロータリー情報委員会 加藤和理

25. 「お役に立つ」という控え目な心

The term "usefulness" is less pretentious and probably more suitable than the term "service". Rotary is a business men's organization and business men like to keep their feet on the ground.

「奉仕」という言葉より「役に立つ」という言葉の方がより控えめであって、恐らくはるかに適切であろう。ロータリーは実業人の団体なのだ。そして実業人というものは大地に足を踏まえて居たいのだ。

「寛容から出発するロータリーの奉仕」という実践哲学を学んでゆくと、この百葉は眼の醒める様な爽かさを持っている。ポール・ハリスはすばらしい哲人だ、と感嘆を覚えるが、それは私一人の陶醉に過ぎないのだろうか。奉仕、奉仕と高踏的なお題目を唱えることは易しいが、実業人の実践哲学として果してそれが本当に説得力を持っているだろうか。このポールの言葉を発見する以前、私は極めて単純に、「人様のお役に立つ喜び—— ロータリーの精神と言ったって、そういう人間本然の気持だ」という様な説明をして歩いたが、職業奉仕ということを論ずる際には、殊の "service" よりも "usefulness" の方が分りいいと思う。

もっとも、そんなことでは次元が低い、ロータリーはやはり "Service Above Self" でなければならぬ、当時のポールが何と言おうと、これこそ今日ロータリーの公式標語ではないか—そういうお叱りも無論ある。それも結構だし、私とて公式標語を否定しようなどとは毛頭思っていない。ただ私ごとき次元の低い俗人には、せいぜい「役に立つ」といった程度のことしか出来そうもないので、この言葉の方が好きだというに過ぎない。

facebook

facebook でたくさんの写真を公開していますのでぜひご覧ください。
<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>



高松グリーンRCとの合同コンペ


(2024年4月7日 坂出カントリークラブ)



4 月誕生日の樹

5日 磯崎裕騎 会員 オオバニガシワ(大葉紅柏)

11日 小竹和夫 会員 ヤマザクラ(山桜)



記念樹 —記念日と誕生日365日の+1の樹— 財団法人経済調査会発行より

ロータリーの特別月間（4月）

環境月間 (Environment Month)

2022年RI理事会10月に決定された重点分野の1つである。天然資源の保全と保護を強化し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援する。

IT・広報委員会よりお願い

週報に掲載させていただく記事・原稿を募集させて頂きたく会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。
 題目は自由として、できるだけ多くの皆様に近況報告も含め各業界分野の話、身近な随筆、提言等どんなお話でも結構ですので投稿していただきます様、宜しく願い申し上げます。



世界に希望を生み出そう

次週のプログラム	第 2597 回	5 月 10 日
(夜例会) 55周年打ち上げ		
担当者	55周年記念事業委員会	例会場 JRホテルクレメント高松